

福祉文教

開催日
9月 2日
9月 8日

一般会計

Q 市民病院とたつの市の在り方について、市民の負担を求め、根本から考える時期に来ているのではないのか。

A コロナ禍の影響もあり、収支は黒字となっているが、市長を含めた中で理事会とも連絡を密にし、コロナ後を見据えた病院の在り方を考えていく時期と考えている。

Q ことも食堂運営支援事業のうち、ことも食堂運営費補助金が42万円の予算上に対し、約10万円の執行額であるが、新規事業として結果はどうであったのか。

A 活動団体数が4団体と当初の目標には及ばなかったが、今年度に入り、新たに3団体が活動を始められている。

Q 弥生倶楽部事業について、新宮地域内外に広く関わる人を増やしていく拠点となる場所として、今後の発展的な考えはあるのか。

A 新宮小学校の児童を中心に古代米作りなどを行っており、今年度は、弥生の森の観察、森の発育状況と遺跡の体験といった新規事業を開

催するなど、次世代の子どもたちと交流の場として宮内遺跡を活用した事業展開を考えている。

学校給食センター事業特別会計

Q 北学校給食センターが来年からスタートするが、現在、自校方式給食室や御津学校給食センターで働いておられる方の処遇はどうなるのか。

A 令和5年度以降の調理及び配送業務については委託となるが、雇用を受け入れることで契約しているため、現在、働いている方全員へ説明会を行い、雇用の希望について意向調査中であり、十分に配慮した形で考えていきたい。

介護保険事業特別会計

Q いきいき百歳体操推進事業について、普及啓発をどのようにしているのか。

A 現在156団体が活動されており、今後、更に出前講座による啓発や、各所で体験講座を開催し、普及啓発に努めていく。



経済建設

開催日
9月 5日
9月 9日

一般会計

Q 新規就農総合支援事業について、新規就農者4名に対して、経営安定のための補助金を出しているが、その効果はどうであったのか。

A この制度は、平成24年度から開始され、現在までに13名を支援しており、そのうち3名が離農し、現在10名が若手農業者として活動している。

Q 創業支援事業について、開業前支援で、重要伝統的建造物群保存地区での創業で100万円加算された事業者はいくつかあるのか。

A 令和3年度の申し込みは8件あり、審査会により5事業者に補助しているが、重要伝統的建造物群保存地区の開業前支援の加算対象事業者はいなかった。

Q オンライン移住相談推進事業について、導入してからどのくらい質問があったのか。また、どのような質問や相談が多いのか。

A AIチャットボットシステムについて、令和3年度で1,114件質問があり、住宅取得支援や空き家

バンクといった移住に関する支援制度について主に質問が寄せられている。

※AIチャットボットシステムとは、チャット(会話)形式で、AI(人工知能)が質問に自動的に回答するシステム。

水道事業

Q 雨水幹線について、浸水被害のある場所への対策を今後どのように考えているのか。

A ポンプゲートの設置等、個別に調査し、対策を検討していく。

国民宿舎事業

Q 赤とんぼ荘の管理運営は、今後どのようにしようと考えているのか。

A 前回は施設を利用した形でプロポーザルを行ったが、内容を変更し、社会情勢を見ながら、令和5年度にプロポーザル募集を目指したいと考えている。

